

AI・デジタル革命時代の人材像

～次世代は志高く世界にその目を開け～

歴史の節目となる「令和」時代が幕開けし、はや半年近くが経過。夏の例会では、「イノベーションのまち京都の可能性～kyoto力×技術革新×次世代～」をテーマに、門川京都市長と新興のスタートアップ企業担当者らとの討論会を開催、大きな反響がありました。世界を舞台に企業や都市間の競争が激化する中、スタートアップ支援や起業家の育成は、課題先進国日本の復活に欠かせない喫緊の課題です。AI・デジタル革命時代の次世代育成はどうあるべきか。そこで秋の例会では引き続き「イノベーションと人材育成」に焦点を当て、米国著名経済紙の「(世界で最も)注目すべき50人の女性」にも選ばれた起業支援会社フェニクシー取締役の小林いずみ、堀場製作所理事の野崎治子、立命館小中高校代表校長の堀江未来の三氏を招き、開催します。学びの秋本番、奮ってご参加下さい。



小林いずみ氏

株式会社フェニクシー 取締役
元 メリルリンチ日本証券株式会社
代表取締役社長



野崎 治子 氏

株式会社堀場製作所 理事
HORIBA COLLEGE 学長兼 CSR 担当



堀江 未来 氏

立命館小学校・中学校・高等学校
代表校長
立命館大学国際教育推進機構教授

第1部

問題提起

小林いずみ氏

第2部

小林いずみ、野崎 治子、堀江 未来
の三氏による鼎談

総合司会 林まゆみ 京都市立朱雀第一小学校長

日時

2019年11月13日(水) 18:30 ~ 20:35

会場

立命館朱雀キャンパス 1階 多目的室

※会場には駐車場がございません。公共交通機関でお越しください。

参加
無料

事前申込制

先着順 (定員 130名)



小林 いずみ

Izumi Kobayashi

1981年成蹊大学文学部卒業後、三菱化成工業（現三菱ケミカル）入社。1985年にメリルリンチ日本法人に転じ、2001～2008年の間、女性として初めてメリルリンチ日本証券株式会社の代表取締役社長を務め、2005年には米紙ウォール・ストリート・ジャーナル「注目すべき女性50人」に選ばれる。2008～2013年には多数国間投資保証機関（MIGA）長官を務める。2013年よりANAホールディング株式会社社外取締役、2014年より三井物産株式会社社外取締役、2017年よりみずほフィナンシャルグループ取締役を兼務。2015年4月～2019年4月経済同友会副代表幹事。2018年3月の起業支援会社フェニクシー設立（京都市中京区）に伴い、取締役就任。

Profile

■ 株式会社フェニクシー

環境問題など様々な社会的課題に取り組む社会派ベンチャーの育成、支援を目的に昨年3月京都市内に設立。社長は橋寺由紀子氏。日本を代表する社会起業家、久能祐子氏（2015年Forbes誌の「米国で自力で成功を取めた女性50人」にも選出。ワシントンDC在住）、松本大氏（株式会社日本マネックスグループCEO）、小林いずみ氏らが創業メンバーに名を連ねる。今年6月には住居付きインキュベーター「toberu」（京都市左京区）を開設し、入居者が企業に在籍したまま社会的課題に特化した新規事業開発や起業に挑戦できる第1期プログラムをスタートさせた。入居期間は4ヵ月。オムロン、ダイキン工業、富士フィルムなど大手企業の7社9人の若手社員が参加しており、事業運営のためのパイロット期間（半年程度）などを経て、基準にパスすればフェニクシーが設立予定のファンドなどから直接投資を受けられる。橋寺社長は「大手企業と若手社員と社会起業家をリンクさせるインキュベーターは日本初の試み。イノベーションの街と言われる京都で社会的課題の解決を目指す、ユニコーン・ベンチャーの創出や次世代の起業へと繋がる好循環を生み出すエコシステム構築に貢献できれば嬉しい」とコメント、京大等の大学や地元経済界、自治体との連携にも注目が集まる。



Photo by Yurika Kono

野崎 治子

Haruko Nozaki

1978年 京都大学薬学部卒業後、堀場製作所の福利厚生学生会社であるホリバコミュニティに入社。1980年 堀場製作所に転籍。2001年 人事教育部部長、2008年 管理本部人事担当副本部長として、社は「おもしろおかしく」を実感できる風土とシステム構築に携わる。2014年 同社初の女性執行役員に就任し、現在 理事 HORIBA COLLEGE 学長兼 CSR 担当。

■ 株式会社堀場製作所

株式会社堀場製作所は、京都市に本社を置く分析・計測機器の総合メーカー。

1953年設立以来、自動車や半導体産業をはじめエネルギー、鉄鋼、食品、パイオ、医用、化学など先端技術に寄与する製品や、環境保全に貢献する製品を多様な製品を世界各国に提供している。自動車排ガス測定装置が世界シェア約80%を占めるなど、高シェア製品も多い。M&Aなど積極的な海外展開を行い、従業員の60%以上が外国籍社員となるグローバル企業となった。社は「おもしろおかしく」。チャレンジングでなければ独創的な製品は生まれない、という企業フィロソフィーを持ち、オープン＆フェアな人事制度を構築している。

堀江 未来

Miki Horie

名古屋大学教育学部在学中、交換留学生として1990-91年に中国・南京大学へ留学。1995年名古屋大学教育学研究科において修士号（比較教育学専攻）取得後、アメリカ・ミネソタ大学大学院にて国際教育学を専攻。異文化体験が人を成長させるメカニズムとその教育支援のあり方を教育心理学と教育政策学の両面から研究し、2003年に博士学位取得。南山大学、名古屋大学等における国際教育交流分野での実践を経て、2009年立命館大学国際教育推進機構准教授に着任、2014年サクロクオーレ・カトリック大学（イタリア）大学国際化研究所客員研究員、淡江大学（台湾）教育学研究所客員研究員を経て、2017年度より国際教育推進機構教授および立命館小学校・中学校・高等学校代表校長に就任。学外では、BRIDGE Institute 代表として国際教育を担う人材育成に取り組む。

お申込方法

締め切り：2019年11月7日（木）17:00まで（先着順）

<お申込の際、必ずお読みください>

お申込いただいた方には、手続きが完了次第、お申込完了のお知らせをお送りいたします（Web申込の方は、自動返信メール送信となります）。1週間以上経過してもご案内が届かない場合は、お手数ですがメール（konwakai@st.ritsumei.ac.jp）

もしくは電話（075-813-8292・平日9:00～17:00）にてお問合せいただけますようお願い申し上げます。

※フィーチャーフォン（ガラケー）よりお申込の場合は、パソコンからのメールが受信可能であるか確認してください。

Web

パソコン、スマートフォンからのお申込は、ぜひこちらをご利用ください。

お申込専用ページへは、右記QRコードをご利用ください
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/d456a13f635402>
（フォームメーカー以外からのweb申込は対応できかねます。）



E-mail
Fax

①お名前（ふりがな） ②ご所属 ③電話番号及びFAX番号 ④今後懇話会からメールによる案内を希望「する」・「しない」
①～④すべてご記入いただき、下記のメールアドレスもしくはFAX番号へ送信してください。

E-mail : konwakai@st.ritsumei.ac.jp Fax : 075-813-8293

※FAXでの受付が完了しましたら、受付完了（参加可能）ファックスを折り返し送信いたします。

<お問合せ先> 京都教育懇話会事務局
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地
（学校法人立命館 一貫教育部内）

TEL : 075-813-8292 FAX : 075-813-8293
E-MAIL : konwakai@st.ritsumei.ac.jp HP : <http://kyoto-kyoiku-konwakai.net>